



行列の習慣



国籍	ベトナム
職種	金属プレス加工
実習実施者	ダイシン工業株式会社
監理団体	オール電算協同組合

ファム ティ フーン リー
PHAM THI HUONG LY

私は、実習生として日本に来ました。来る前にテレビや新聞といったメディアで日本の事を少しは、知っていました。日本といえばまず思い浮かぶのは、道いっばいの桜並木やきれいな和服の女性でした。二年近くがたち想像していた美しい景色ばかりでなく色々な素晴らしい習慣にも気づいたのです。なかでも一番興味を持ったのは日本人の行列の習慣です。

駅では日本人は、列を作って降りる人を待って順序良く電車に乗る事が出来ます。またエスカレーターを利用する際にも大阪では右側に立ち片側を空け東京では、左側に立って急いでいる人が通れるようにする事もあります。さらに食事の為に沢山の時間を待っている人もいます。お年寄りから子供までどこに行ってもきちんと列を作って自分の順番を待っているのです。子供頃から学校で教えてもらうかなと考えたのです。しかし私は間違ったそうです。日本では、並ぶ事を特別に教えられてはいないようです。「40、50年前ぐらいは、このような事が出来ずに我先にと電車に乗っていました。でも毎年アメリカやヨーロッパに出張や観光、留学と世界を見る事で正しいマナーを見習う事が少し

ずつ出来るようになったのです。」と日本人の課長が言いました。つまりみんながスーパーや駅で並んで、順番を待つ事が気持ちよく思えるようになり段々自然と習慣になってきたと思います。今では、子供の周りの大人たちがいつもきちんと並んで待つ事で子供も習慣となります。もし、電車を待っているときに子供が列に割り込んだりするとそれは悪い事と教えるのです。

昨年の八月に大阪に旅行し天保山の観覧車に乗ろうとしたときの事です。夏休みでもあり、人がとても多かったのです。そのとき、私は待つ事に自信がなく帰ろうかと考えました。でも、私が後ろを見ると誰もが楽しく話して自分の順番を待っているのです。その時、日本人って本当に忍耐強く、まじめな人だと思いました。このような事は、ベトナムには無いのです。特に2011年3月の東日本震災の時、震災後の日本人の対応に世界が絶賛されたのです。震災といえば思い浮かぶのは、大混乱の事です。そんな時でも日本人は、子供でもきちんと列を作って食べ物を待っていました。騒ぐ事もなく食べ物に殺到しなかったのです。その事は、私の国だけでなく世界中でどこにもない事だと思います。いまでは、日本人にとっては、ただの習慣が素晴らしい文化として世界でも認められています。

日本に来て驚いた事が毎日、日本人を見る事で私の中にも並ぶ、待つという事が習慣になってきました。帰国したらこの習慣を続けると思います。10年、20年と時間が過ぎたときにベトナム人も日本人のように並べる習慣が当たり前になっているかも知れません。